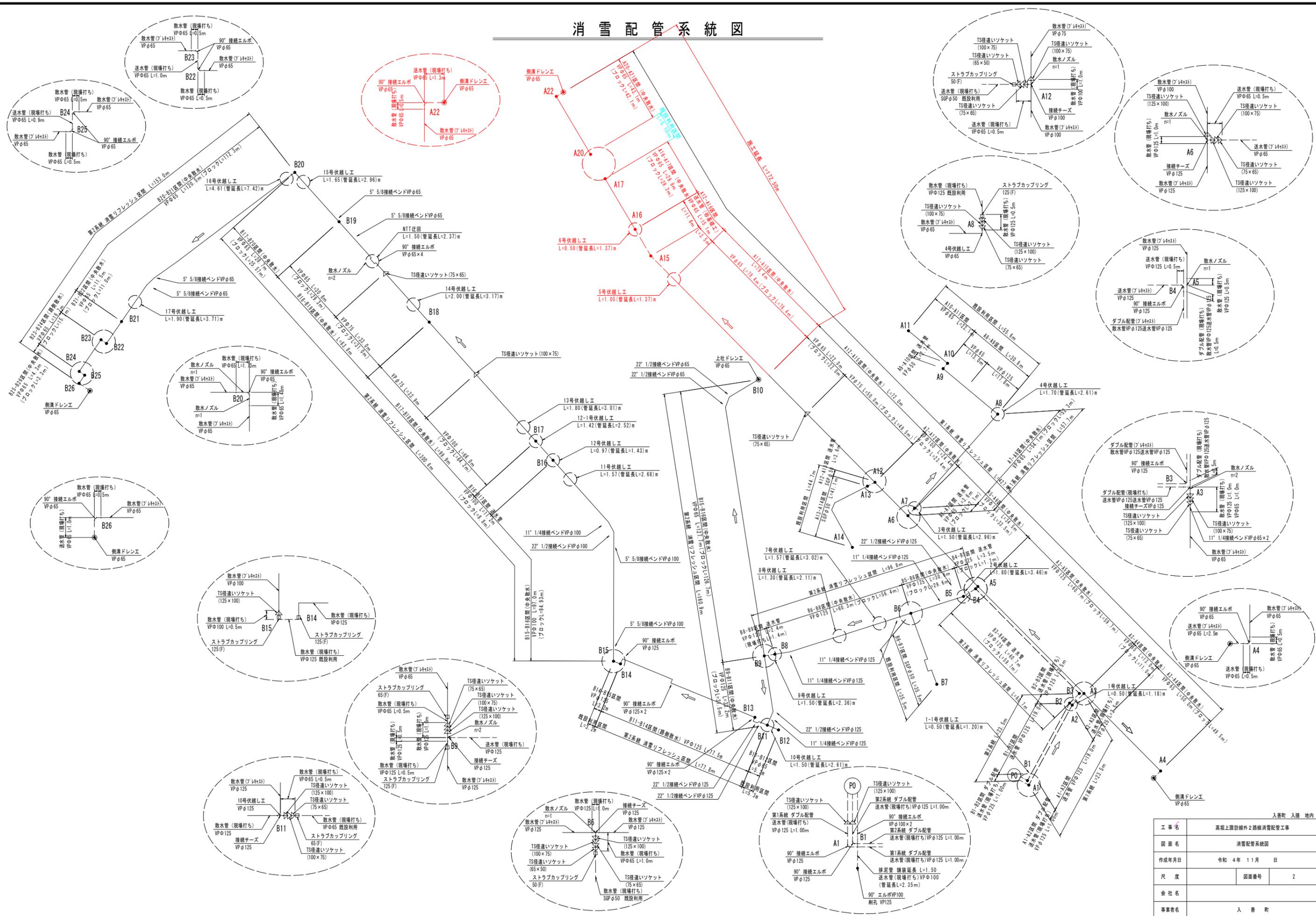


高堀上諏訪線外2路線消雪配管工事 位置図(入善8、9区)

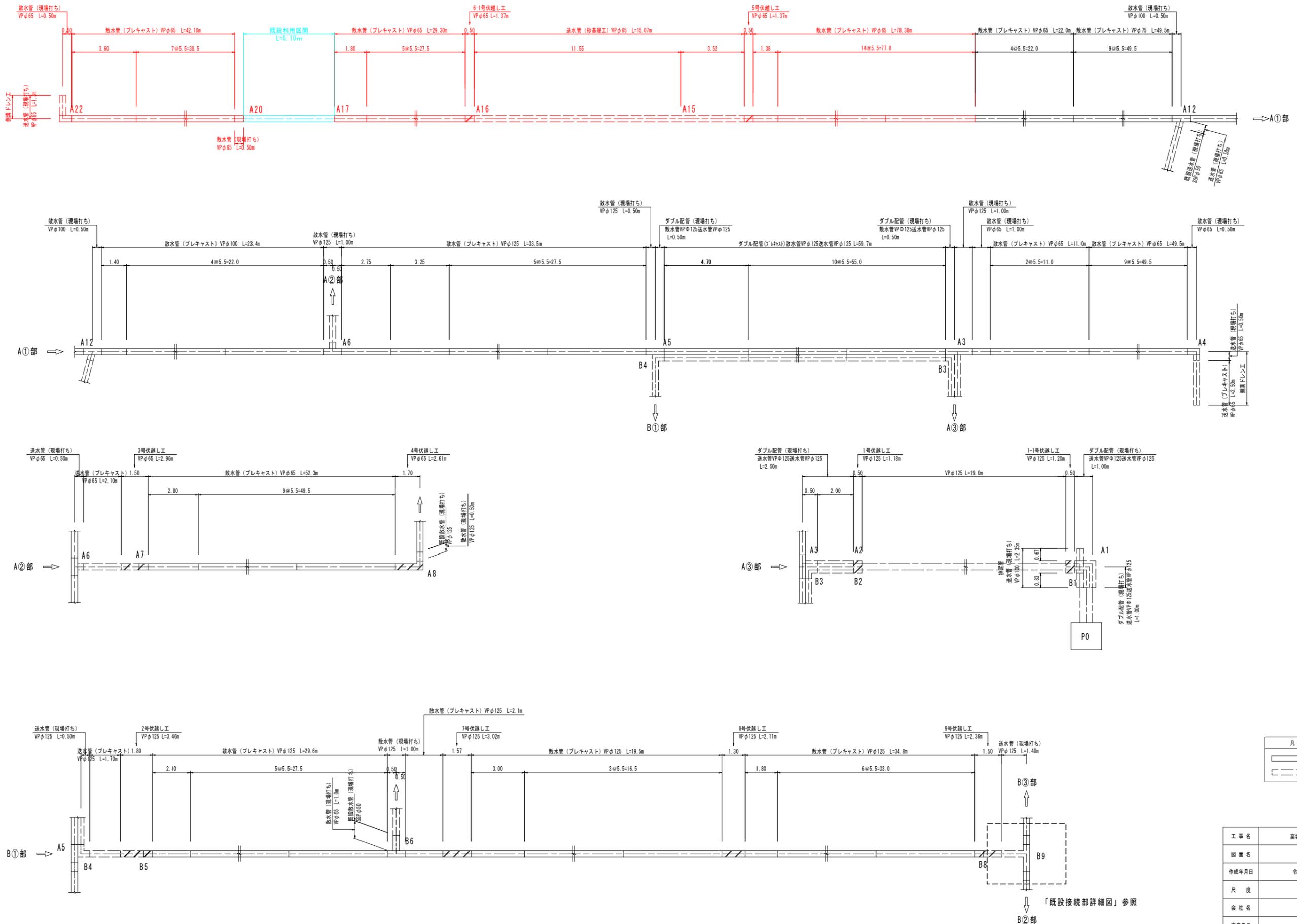


消雪配管系統図



工事名	高層上層防外2路配管消雪配管工事
図面名	消雪配管系統図
作成年月日	令和 4年 11月 日
尺度	図面番号 2
会社名	
事業者名	入 善 町

消雪パイプ割付図 (NO.1)



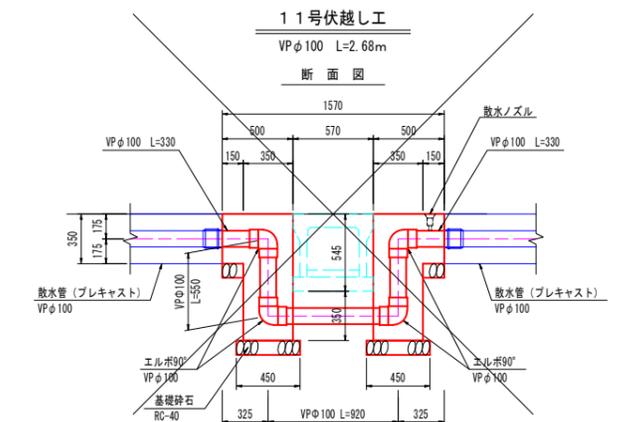
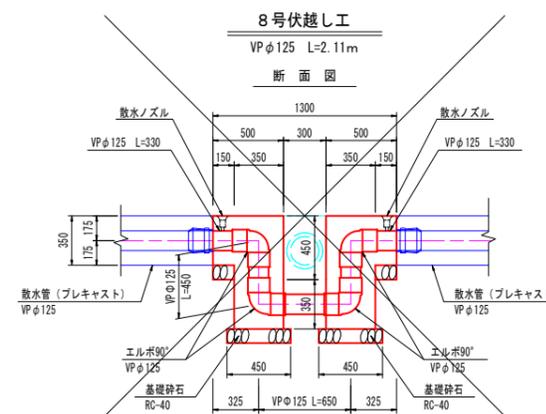
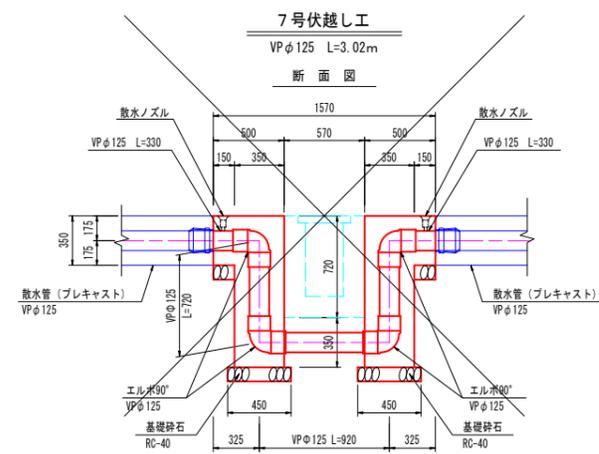
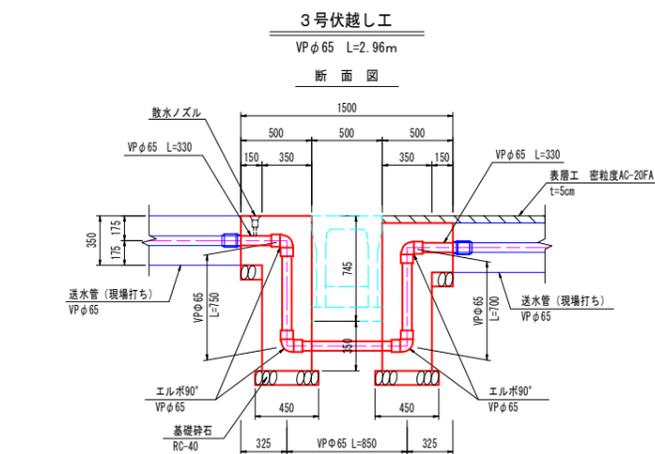
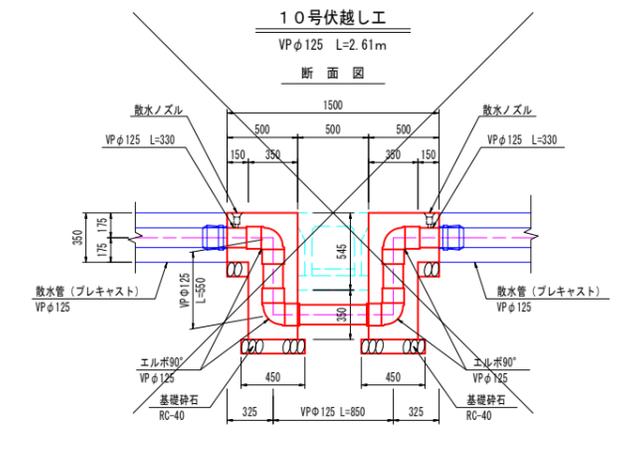
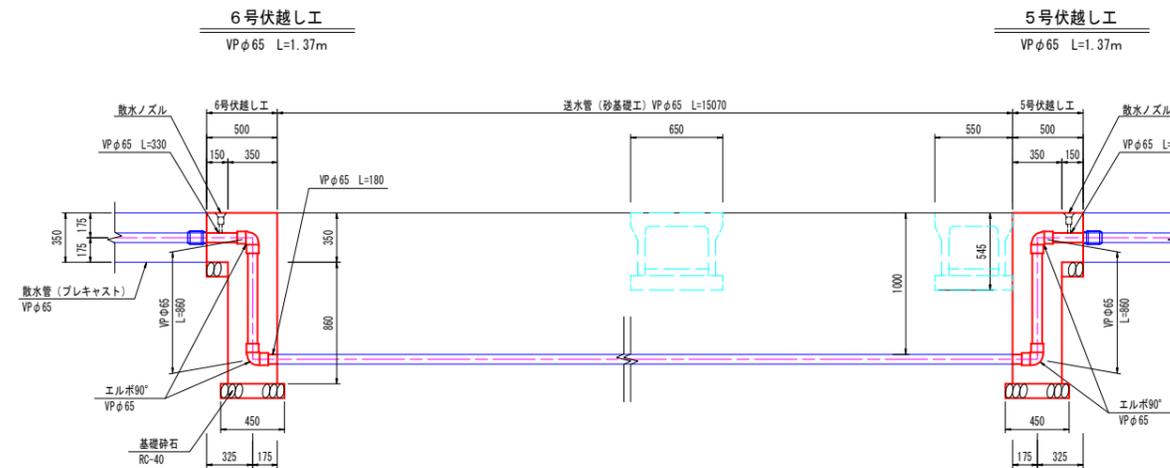
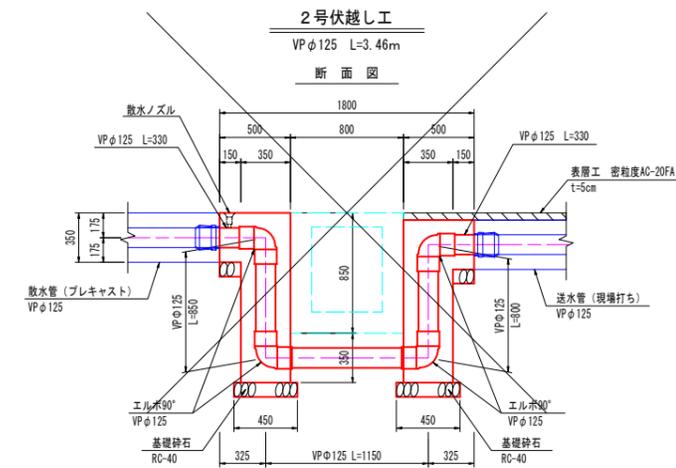
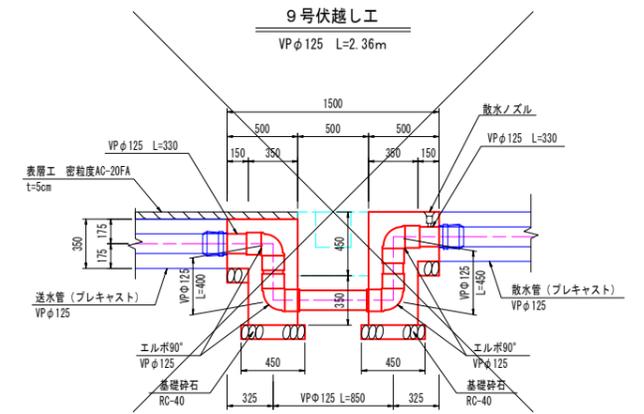
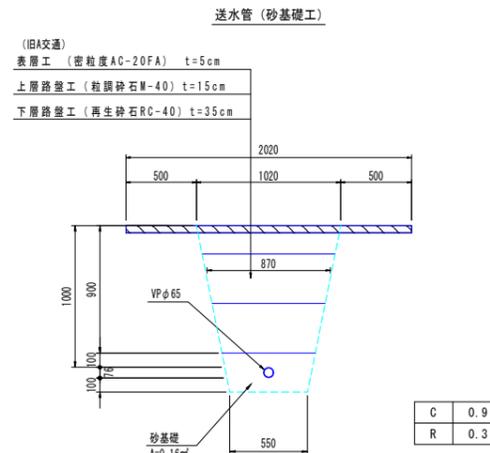
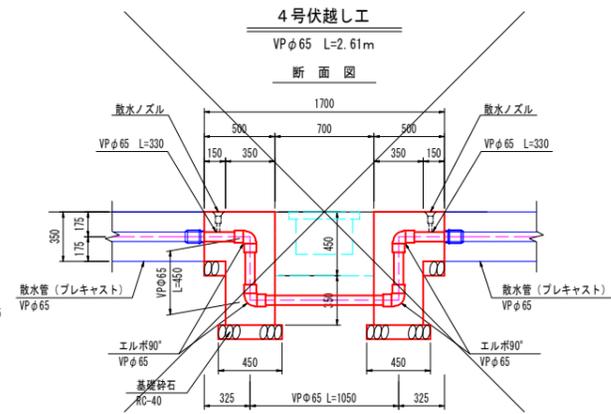
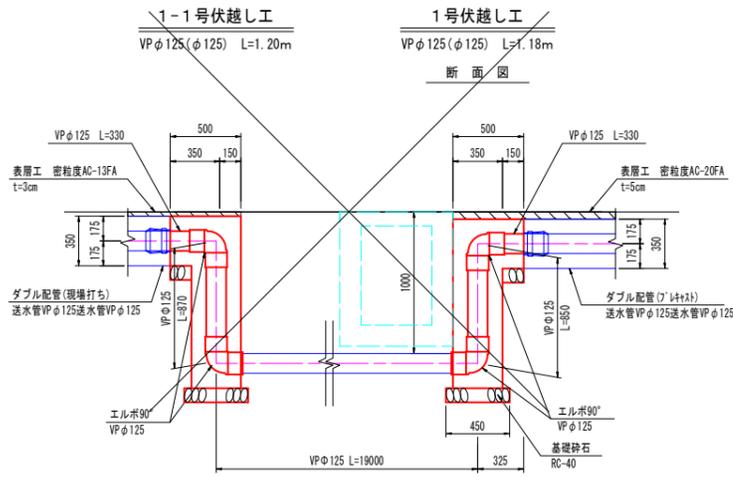
凡 例	
	： 散水管
	： 送水管

入善町 入福 地内	
工事名	高燃上照防線外2路線消雪配管工事
図面名	消雪パイプ割付図 (NO.1)
作成年月日	令和 4年 11月 日
尺度	図面番号 3
会社名	
事業者名	入 善 町

「既設接続部詳細図」参照

伏越し工詳細図 (NO. 1)

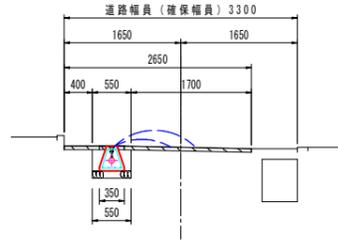
縮尺 S=1/25



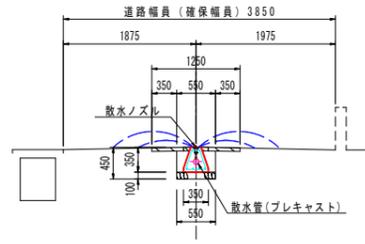
入善町 入地内

工事名	高畑上園防線外2路線消電配管工事		
図面名	伏越し工詳細図 (NO. 1)		
作成年月日	令和 4年 11月 日		
尺度	1:25	図面番号	8
会社名			
事業者名	入善町		

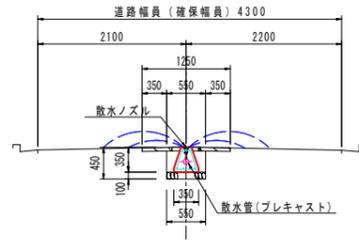
標準断面図 ①
南町東寺田線



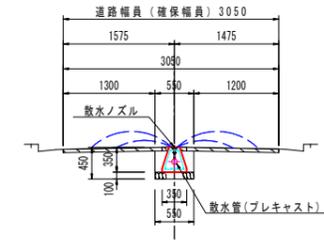
標準断面図 ⑤
東寺田線



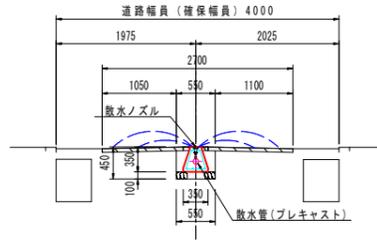
標準断面図 ⑨
入善中学校南線



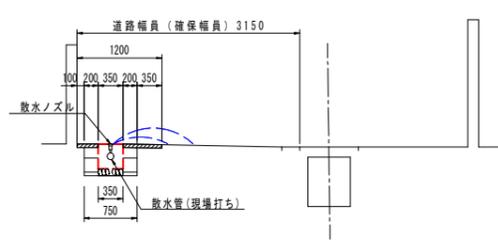
標準断面図 ⑮
八区公民館線



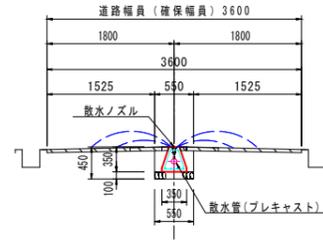
標準断面図 ②
南町東寺田線



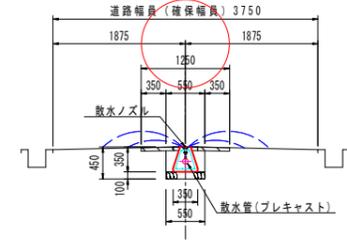
標準断面図 ⑥
東寺田線



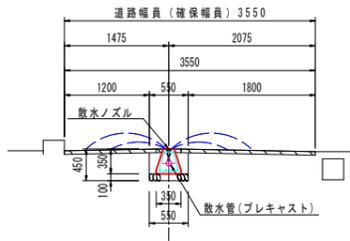
標準断面図 ⑩
高堀上諏訪支線



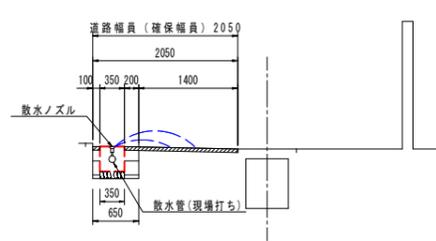
標準断面図 ⑩-2
高堀上諏訪支線



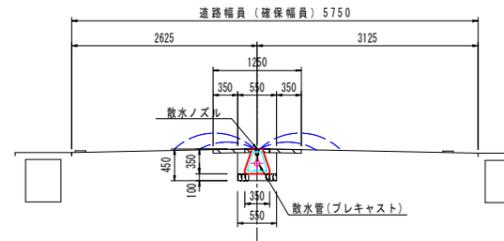
標準断面図 ③
観音寺線



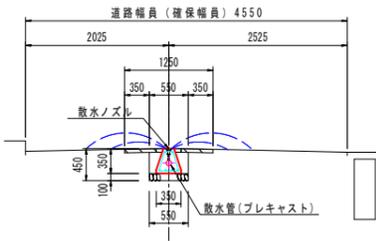
標準断面図 ⑦
東寺田線



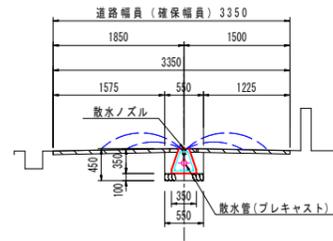
標準断面図 ⑬
高堀上諏訪線



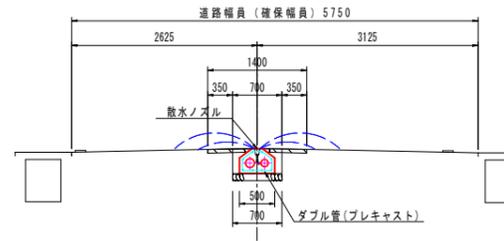
標準断面図 ④
観音寺線



標準断面図 ⑧
東寺田線



標準断面図 ⑬-1
高堀上諏訪線



工事名	入善町 入圃 地内 高堀上諏訪線外2路線消雷配管工事		
図面名	消雷管布設標準図		
作成年月日	令和 4年 11月 日		
尺度	1:50	図面番号	5
会社名			
事業者名	入 善 町		

消雪パイプ（プレキャスト）標準図

縮尺 S=1/20

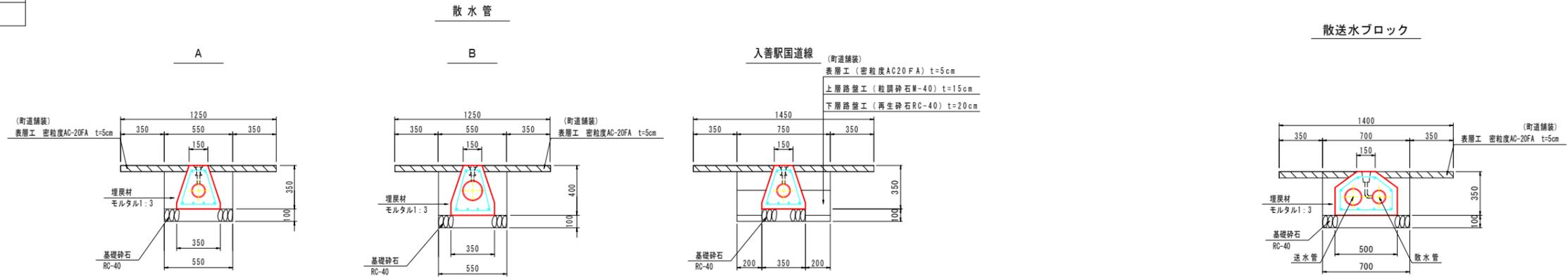
〔設計条件〕

項目	設計値
設計軸荷重	50kN
衝撃係数	0.4
コンクリート設計基準強度	40N/mm ²

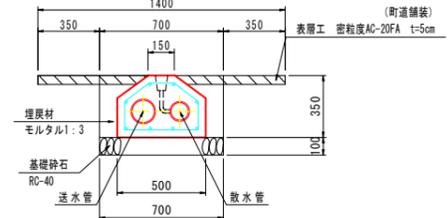
種別の摘要箇所、管径

種別	摘要箇所	管径
A	車道部	VP65~125
B	車道部	VP150

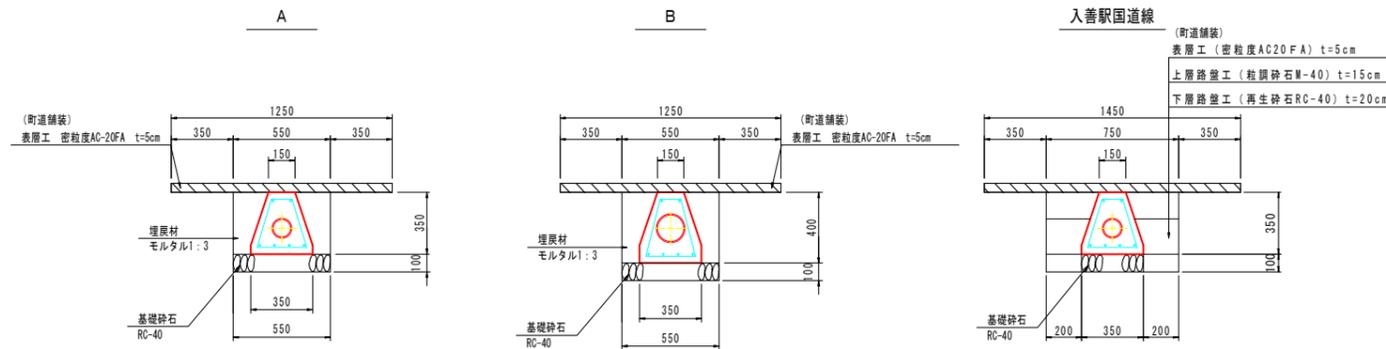
施工断面図



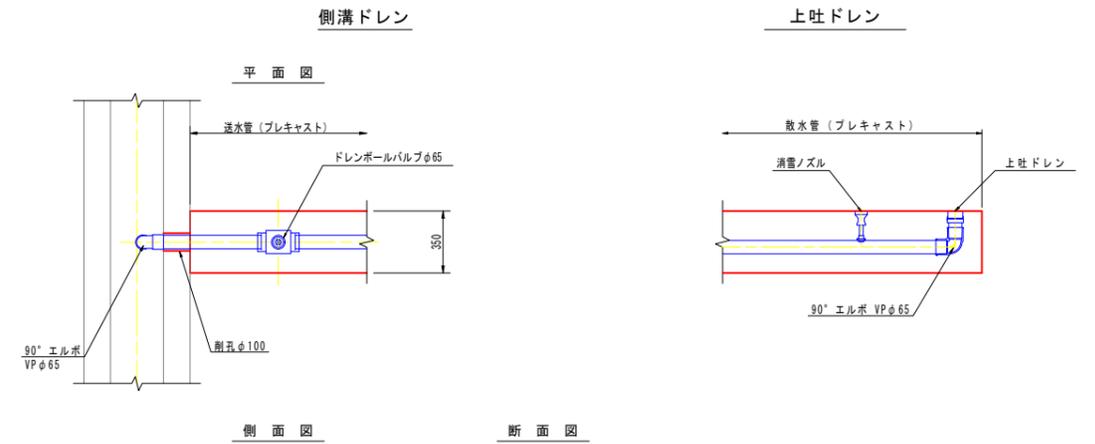
散送水ブロック



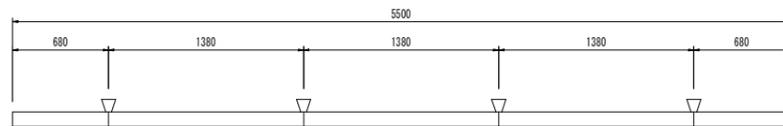
送水管



ドレンブロック



散水用ノズル位置



〔適用範囲〕

1. 施工期間の短縮、施工条件を勘案し、使用する。
2. 設計・施工は、「散水消雪施設設計施工維持管理マニュアル（散水消雪施設設計施工マニュアル編集委員会）」による。
3. ジョイント部は、「せん断」に対する対応を行っているものを使用する。
4. ノズル立ち上がり管の本管取り付け部の構造については、「ネジ込み式ソケット」と同等の強度があるものとする。
5. 国道、県道、市道において設置から3年以上経過しても水漏れ等の異常が発生していないものとする。

〔仕様〕

1. 管の材料は、樹脂管 (VP) を標準とし、管径は、VP65A~150Aとする。
2. 基礎材は再生砕石 (RC-40) を標準とし、施工にあたっては十分締め固めを行う。
3. 基礎材の厚さは10cm程度とし、施工幅は施工に必要な余裕 (5cm程度) をもたせる。
4. ブロック据付面と路面高との調整は、敷砂、敷鉄板、コンクリートブロック等を設けて施工する。
5. ブロック据付後、ブロック側面はモルタル等の間詰め材を充填し十分締め固めを行う。
6. 舗装構成は原則として現況舗装構成に合わせ、施工にあたっては、十分締め固めを行う。
7. ブロックとブロックの間には伸縮目地を設けることとする。目地材は、差青繊維質材とし、厚さt=10mmを標準とする。
8. 鉄筋は、SD295Aの使用を基本とする。

入善町 入地 地内

工事名	高燃上開防線外2路線消雪配管工事		
図面名	消雪パイプ (プレキャスト) 標準図		
作成年月日	令和 4年 11月	日	
尺度	1:20	図面番号	4
会社名			
事業者名	入善町		

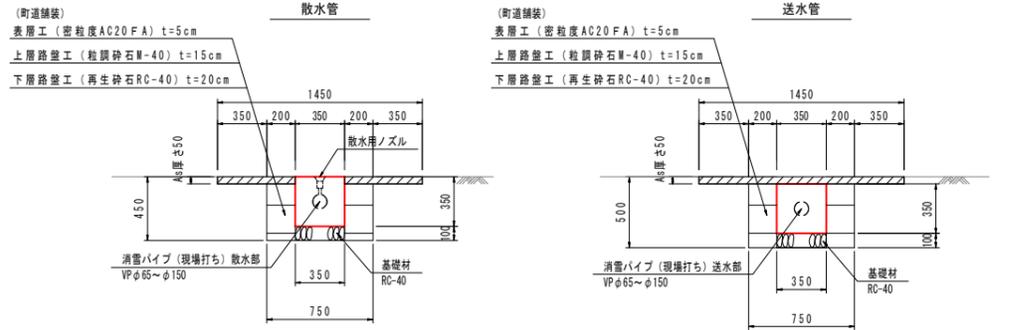
消雪パイプ（現場打ち）標準図

縮尺 S=1/25

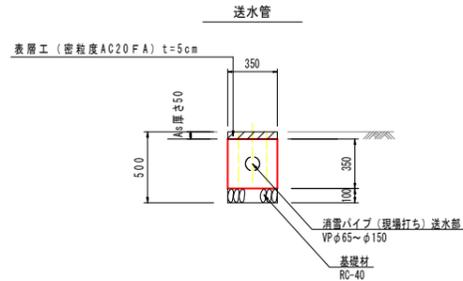
設計条件	
設計軸荷重	50kN [車道]
衝撃係数	i=0.4
コンクリートの強度	(30-8-25) $\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$
コンクリートの構造物	小構造物 (I)
鉄筋の種類	(SD295A)
鉄筋の許容引張力	180N/mm

コンクリート巻立工標準図

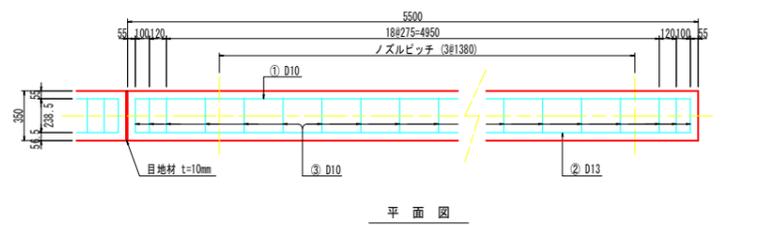
(VPφ65~φ150)



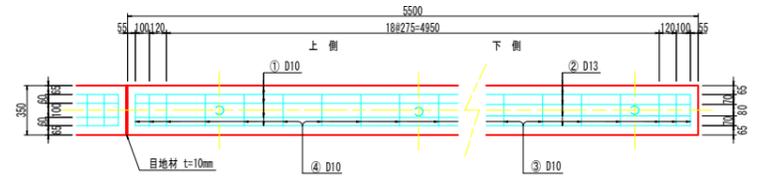
新設区間



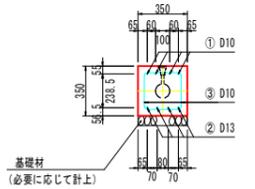
側面図



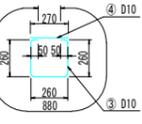
平面図



断面図



組立筋加工図



鉄筋表

5.50m 当り

番号	鉄筋	本数	長さ (mm)	単位重量 (kg/m)	質量 (kg)	摘要
1	D 10	4	5,390	0.560	12.074	
2	D 13	4	5,390	0.995	21.452	
3	D 10	23	880	0.560	11.334	
4	D 10	23	270	0.560	3.478	
D 13 以下 = 48.338kg						
※ 55.0m 当り					D 13 以下 = 483.380kg	

(注) 鉄筋は、SD295Aの使用を基本とする。

【適用範囲】

- 施工期間の短縮、施工条件を勘案し、使用する。
- ジョイント部は、「排水消雪施設設計施工維持管理マニュアル（排水消雪施設設計施工マニュアル編集委員会）」によるとともに、「せん断」に対する対策を行っているものを使用する。
- ノズル立ち上がり管の本管取り付け部の構造については、「ネジ込み式ソケット」と同等の強度があるものとする。
- 国道、県道、市道において設置から3年以上経過しても水漏れ等の異常が発生していないものとする。

【仕様】

- 管の材料は、樹脂管 (VP) を標準とし、管径は、VP65A~150Aとする。なお、伏越し部は、SGP管を使用する。
- 基礎材は再生砕石 (RC-40) を標準とし、施工にあたっては十分締め固めを行う。
- 基礎材の厚さは10cm程度とする。
- 地盤反力係数 $2 \times 10^4 \text{ kN/m}^2$ 以上の地盤に適用する (よく締め固められた砂混じり砂利)。

コンクリート等数量表

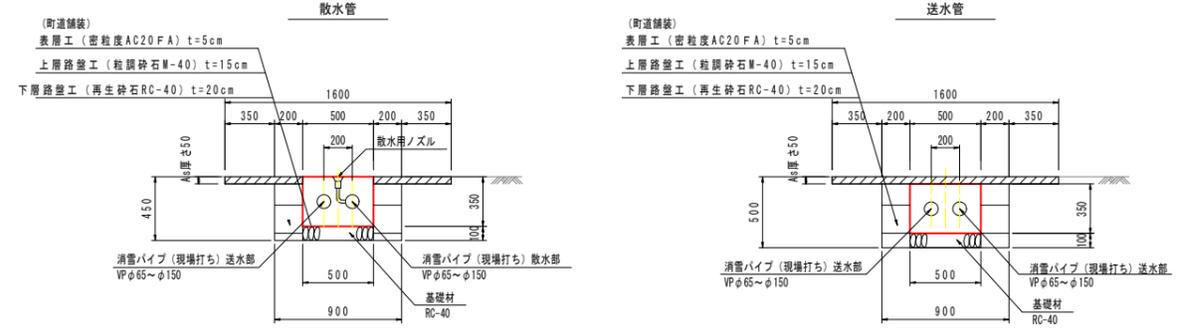
5.50m 当り

	VPφ65	VPφ75	VPφ100	VPφ125	VPφ150	摘要
全体断面積 (A)	0.123	0.123	0.123	0.123	0.123	$0.35 \times 0.35 \text{ m}^2$
パイプ断面積 (B)	0.0045	0.0062	0.0102	0.0154	0.0214	$\pi D^2 / 4 \text{ m}^2$
実断面積 (C)	0.1180	0.1163	0.1123	0.1071	0.1011	(A)-(B) m^2
コンクリート体積 (D)	0.649	0.640	0.618	0.589	0.556	(C) $\times 5.50 = \text{m}^3$
※ 55.0m 当り	6.49	6.40	6.18	5.89	5.56	(D) $\times 10 = \text{m}^3$
※ 目地材	10ヶ所 (55.0m/5.50m) $\times 0.123\text{m}^2 = 1.23\text{m}^2$, t=10mm					
※ 路盤紙	0.35m \times 55.0m = 19.25m ²					

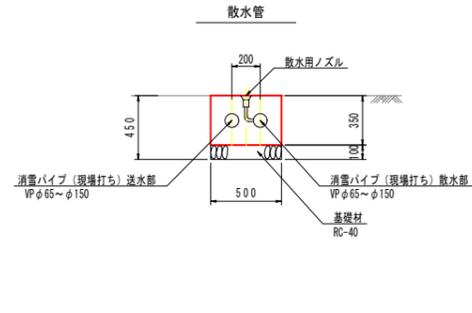
(注) 1. 基礎クラシャーランを入れる場合は路盤紙を計上しない。
2. ※印 55.0m 当りの数量を示す。

コンクリート巻立工標準図(ダブル管)

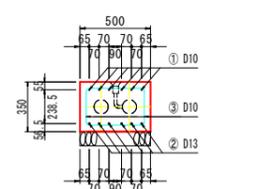
(VPφ65~φ150)



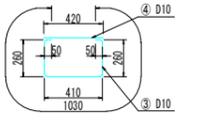
新設区間



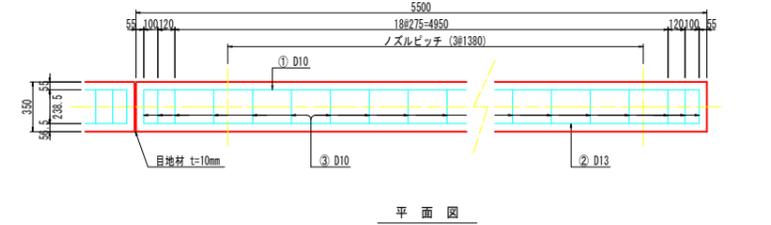
断面図



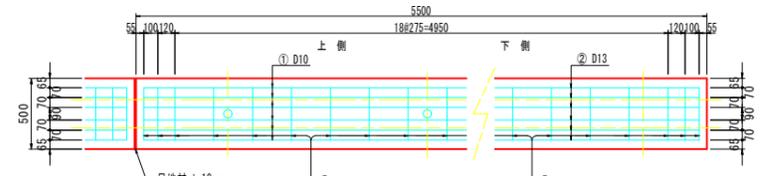
組立筋加工図



側面図



平面図



コンクリート等数量表

5.50m 当り

	VPφ125	VPφ125	VPφ125	VPφ125	摘要
全体断面積 (A)	0.175	0.175	0.175	0.175	$0.50 \times 0.35 \text{ m}^2$
パイプ断面積 (B)	0.0199	0.0216	0.0256	0.0308	$\pi D^2 / 4 \text{ m}^2$
実断面積 (C)	0.1551	0.1534	0.1494	0.1442	(A)-(B) m^2
コンクリート体積 (D)	0.853	0.844	0.822	0.793	(C) $\times 5.50 = \text{m}^3$
※ 55.0m 当り	8.53	8.44	8.22	7.93	(D) $\times 10 = \text{m}^3$
※ 目地材	10ヶ所 (55.0m/5.50m) $\times 0.175\text{m}^2 = 1.75\text{m}^2$, t=10mm				
※ 路盤紙	0.45m \times 55.0m = 24.75m ²				

(注) 1. 基礎クラシャーランを入れる場合は路盤紙を計上しない。
2. ※印 55.0m 当りの数量を示す。

入善町 入籍 地内

工事名	高松上環防線外2路線消雪配管工事		
図面名	消雪パイプ（現場打ち）標準図		
作成年月日	令和 4年 11月 日		
尺度	1:25	図面番号	7
会社名			
事業者名	入善町		